

令和6年度福知山市部活動改革検討会議
第2回会議次第

日 時：令和6年8月23日（金）

午後3時30分から

場 所：市役所5階第4委員会室

- 1 開会あいさつ
- 2 令和6年度部活動地域移行実証事業について
 - （1）現在の進捗状況等について
 - （2）実証方法について
- 3 令和7年度以降の実証事業の種目について
 - （1）各種目の状況等について
 - （2）今後の進め方について
- 4 部活動地域移行の基本計画策定について
 - （1）基本理念・基本方針について
 - （2）その他
- 5 広報周知について
 - （1）舞鶴市部活動地域移行のための説明会・意見交換会について
 - （2）児童・生徒・保護者等への周知について
- 6 その他
- 7 閉会あいさつ

令和6年度 福知山市部活動改革検討会議委員名簿

(敬称略)

氏 名	所 属 ・ 役 職 等
いちだ ひろし 市田 博	福知山市立中学校長会（日新中学校 校長） 福知山市中学校体育連盟 会長
いまむら はづき 今村 はづき	福知山市立中学校教頭会（夜久野中学校 教頭） 福知山市中学校教育音楽部会 顧問
いしだ よしのり 石田 佳則	福知山市立成和中学校（教諭：野球部顧問）
おかべ せいろう 岡部 晴朗	一般財団法人福知山市スポーツ協会 事務局次長
ひえだ のりこ 稗田 勅子	公益社団法人福知山市文化協会 副会長
ながづみ じん ◎長積 仁	立命館大学 スポーツ健康科学部 学部長 京都府地域クラブ活動推進検討委員会 委員 (京都府教育委員会)
いのうえ ともゆき 井上 智行	中学校 PTA 代表
まきた かい 蒔田 快	小学校 PTA 代表
もりた てつや 森田 哲也	福知山市地域振興部 理事
い ず えいいち ○伊豆 英一	福知山市教育委員会事務局 理事
ほそたに けいじ 細谷 恵滋	福知山市教育委員会事務局学校教育課 指導主事

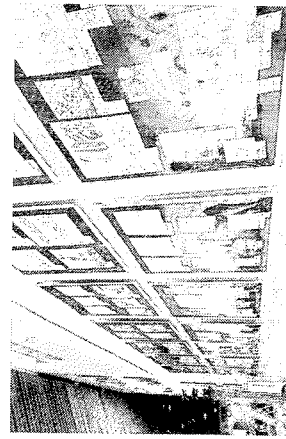
◎委員長、○副委員長



雨の中、磨いた技を披露!

河津グラウンドで消防防災大会を開催

第33回福知山市消防防災大会に消防団24分団が出場し、小型ポンプ操法の技術を磨きました。選手は雨が降る中、日頃から磨いた技を披露しました。放水までの時間や規律ある動きなどの審査の結果、奥平、佐野分団が優勝を争いました。佐野分団は48月に開催される京都府消防防災大会に本市の代表として出場します。



7/3 全国から未来の列車が大集合

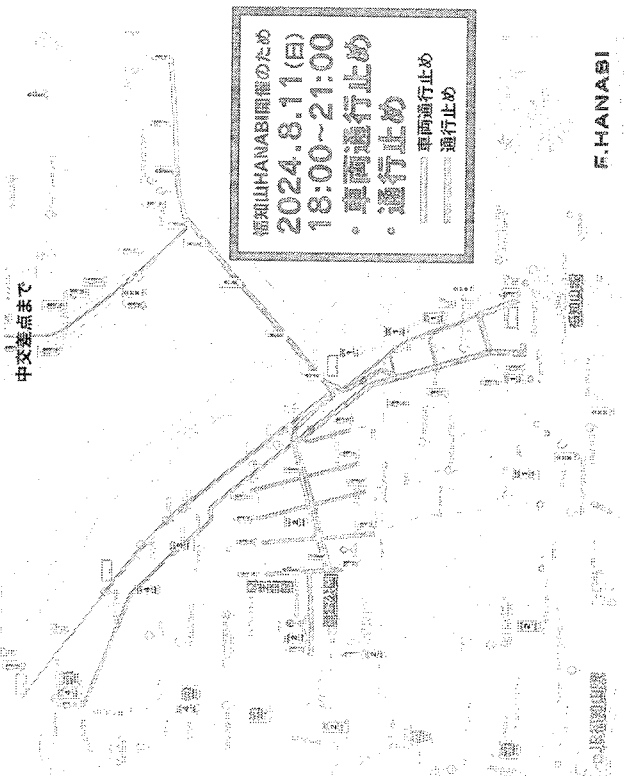
フクシルで連日連日の未来列車の展示を開催

フクシルでは「未来の列車」を4月から募集し、8月26日まで展示会を開催しています。自由な発想で、見たこともないような新しい列車、便利な列車、夢のような列車などが集まり、その数はなんと99点。ぜひ来館し、壁一面のみんなの空想列車をご覧ください。

8月11日(日)花火大会の通行規制のお知らせ

由良川河川緑地は全県指定の有料観覧席です
 有料観覧席上での観覧はできません
 由良川左岸の堤防上は立ち止まれません
 会場周辺の商業施設などへの駐車はご遠慮ください

福知山HANABI実行委員会
 (平日10時~16時)
 TEL 090-4562-1008

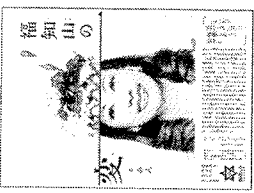


福知山HANABI開催のため
 2024.8.11(日)
 18:00~21:00
 ・車両通行止め
 ・通行止め
 車両通行止め
 通行止め

F. HANABI

「福知山の変」第8弾をお披露目

外国人支援に奮闘する
 ジョセフ・タニグチさん



このまちで挑戦し、まちを変えていく人を応援する企画「福知山の変」。

8人目の変化人、は、外国人支援に取り組むジョセフ・タニグチさん。通称・カレンさん。本市に移住し、文化や言葉の面で奮闘した経験をもとに、日本で暮らす外国人の公的手続きのサポート

「福知山の変」第8弾は、外国人支援に奮闘するジョセフ・タニグチさん。



千代田市出身のタニグチさんは、1995年に福知山に移住し、外国人支援に奮闘しています。

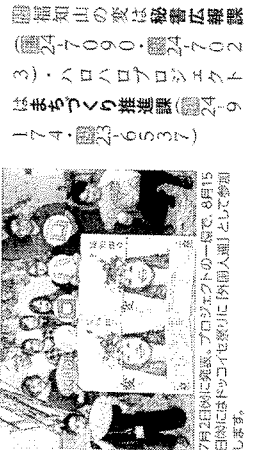
第32回 福知山マラソン 開催概要

日時 11月23日(土・祝)
 会場 三段池公園内(スタート・フィニッシュ) 申込はこちろ
 マラソン42.195km・ハーフマラソン21.09km・5km・2区:20.7km
 チャレンジラン10km ほか
 参加料 マラソン・ハーフマラソン11,000円(ペアは2名16,000円)
 チャレンジラン10km:100,000円(10名)
 チャレンジラン10km:5,000円 ほか
 申込 9月30日(金)までに二次元コードから

や不登校の子どもへのケアなど、長年にわたり支援活動を行っています。

ボスターの上部は、母国フィリピンで代表的スイーツであるカレン・ハロハロ意匠、混ぜこぜし、「全ての人が尊重しあえる世界」をめざすカレンさんの頭の中を多くの市民の協力のもと表現しています。

併せて、多文化共生のまちづくりを進める「ハロハロ・ハロハロプロジェクト」を始動しました。



ホリデークラブ(地域クラブ)を実施します!

図学校教育課 TEL 24-7063・FAX 24-4880

市立中学校の土曜日などの休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。

8月23日(金)までに電話・ファクスもしくは右下二次元コードから(一次募集)

種目	参加資格	申込方法
サッカー	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
ソフトボール	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
バスケットボール	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
バレーボール	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
バドミントン	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
卓球	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。
水泳	男子・女子 小学生・中学生・高校生	市立中学校の休日の部活動を、複数の学校の生徒が合同で活動する「ホリデークラブ(地域クラブ)」に移行を検討しており、今年度は7種目を実施事業として行います。ぜひご参加ください。

令和6年度地域移行実証事業種目別参加申し込み状況

R6.8.23 現在

学校名	学年	サッカー	ソフトボール	バスケットボール 男子	バスケットボール 女子	バレーボール 男子	剣道	合唱	合計
桃映	1年								0
	2年								0
	計								0
南陵	1年					1			1
	2年					0			0
	計					1			1
成和	1年					2			2
	2年					2			2
	計					4			4
六人部	1年						1		1
	2年						0		0
	計						1		1
川口	1年			0	2				2
	2年			2	0				2
	計			2	2				4
日新	1年								0
	2年								0
	計								0
三和	1年								0
	2年								0
	計								0
夜久野	1年				1	1			2
	2年				0	0			0
	計				1	1			2
大江	1年								0
	2年								0
	計								0
合計	1年	0	0	0	3	4	1	0	8
	2年	0	0	2	0	2	0	0	4
	計	0	0	2	3	6	1	0	12

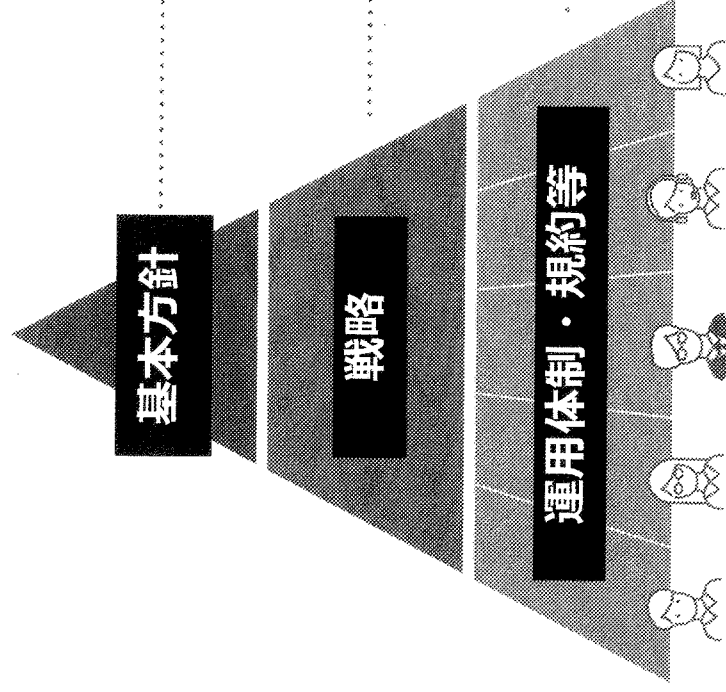
令和6年度実証事業の状況について

NO	競技	対象学年	実施開始時期	実施頻度	場所	指導者	R7年度以降の方向性
1	サッカー	1～2年生	6月8日開始、 2回実施	・9月以降も基本月2で実施	六人部中学校 桃映中学校 その他	兼職兼業の手続きをした指導者	地域クラブ「FUKUCHIYAMA UNITED FC」 として活動
2	ソフトボール女子	1～2年生	8月	・9月以降も基本月3で実施	南陵中学校 日新中学校	兼職兼業の手続きをした指導者	チーム「ブルーファイトアーズ」との交流や小学生 への啓発活動。高校生との合同練習会。
3	バスケットボール (男子)	1～2年生	9月 新人戦以降～	不定期(土曜日)に 8回～10回程度	川口中学校 or 610BASE or 六人部中学校	福知山/バスケットボール協会員 or 希望する中学校顧問	6年度の実施方法を継続するか、既存のクラブ チーム(男女各2チーム)の練習に参加する方向も 検討。 クラブチーム化への移行は予定なし。
4	バスケットボール (女子)	1～2年生	9月 新人戦以降～	不定期(土曜日)に 8回～10回程度	川口中学校 or 610BASE or 六人部中学校	福知山/バスケットボール協会員 or 希望する中学校顧問	6年度の実施方法を継続するか、既存のクラブ チーム(男女各2チーム)の練習に参加する方向も 検討。 クラブチーム化への移行は予定なし。
5	バレーボール男子	1～2年生	9月 新人戦以降～	第1・第3日曜PM	桃映中学校	福知山/バレーボール協会員 の中学校教員	
6	剣道	1～2年生	9月 新人戦以降～		武道館	福知山剣道連盟員	
7	合唱	1～2年生	10月	10月5日(土) or 6日(日)の練習会 をお試し練習会として参加者の有 無・継続性を踏まえ順次計画する。	市交流プラザ など	合唱連盟員	今年度の結果を踏まえて再検討する。

**【R6年度 第2回検討会議】
基本方針づくりにおける参考資料
(24.08.23)**

基本方針の策定について

今後進めていく「戦略」や「運用」を策定していく上での、
全ての【判断基準】となる重要な指標となるもの



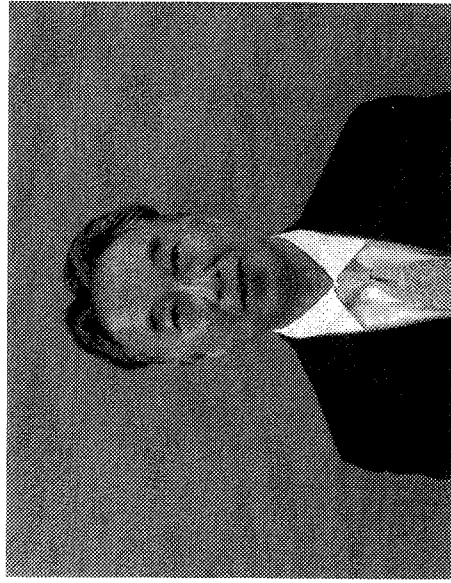
部活動地域移行における
全ての方向性を言語化

方針の実現に向けて
必要な要素ごとに目的を詳細化

具体的な実現手段について
運用や役割分担を整理

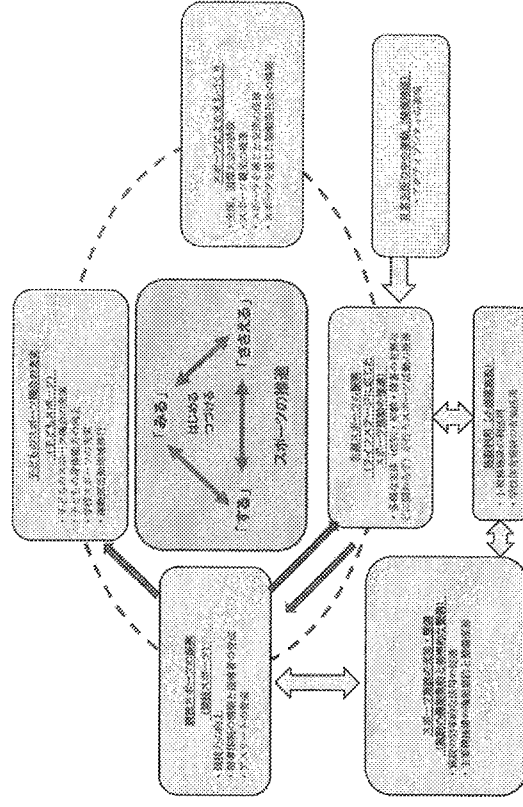
基本方針の策定について

現在福知山市が掲げる様々な言語化されたものから、
目指すべき基本方針に必要な「ワード」を検討し「福知山モデル」を策定していく



大橋市長 市長公約内

スポーツ・文化活動を通じ
中学生の豊かな成長を育むため、
部活動地域移行福知山モデルを実現します。



スポーツ推進計画

「子どものスポーツ機会の充実」において、
運動部活動地域移行が記載されている

スポーツ推進計画

「つづける」スポーツ

部活動地域移行の検討・推進

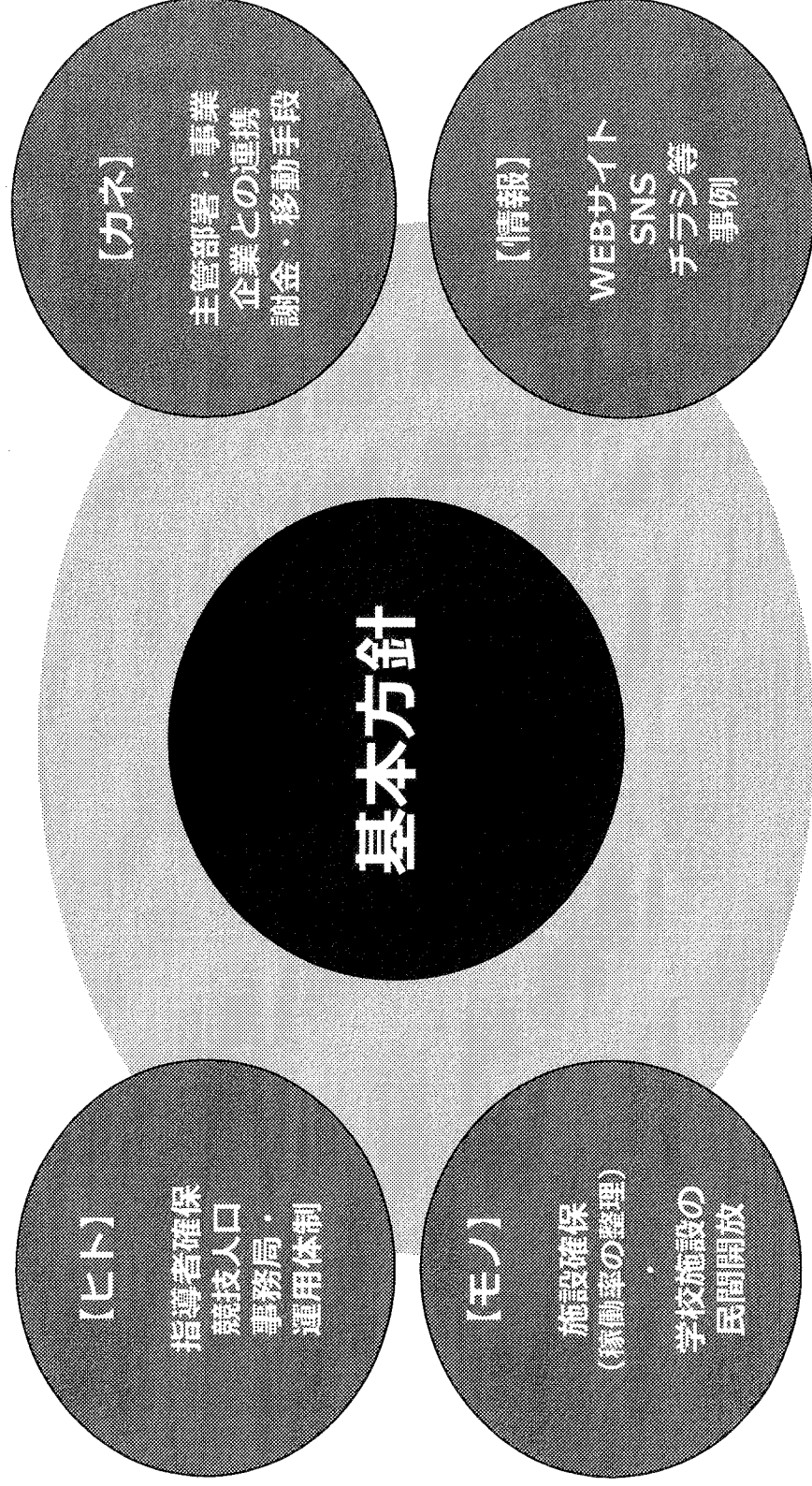
「ちちえる」スポーツ

中学校運動部活動の充実と
地域移行での支援

生涯スポーツの推進において、重要な要素の1つとして記載

基本方針の策定について

基本方針と合わせて、基本方針を実現するために抑えるべきポイントを洗い出しておく必要がある



参考事例：静岡県掛川市／磐田市

掛川市の部活動改革「部活動地域展開」のビジョン

生活に誇ってスポーツや文化に活動に誇り、地域全体が一体のウェルビーイングを実現する

- ① すべての児童がスポーツや文化活動で「やる」「遊ぶ」「笑える」にチャレンジできる環境をつくる
- ② 関心の高い児童にあって、人も環境も発展が図られ、スポーツ活動の発展をつくる
- ③ 部活動やクラブの手帳にとらわれない自由な活動で、一歩先の未来を創り出す環境をつくる

部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！

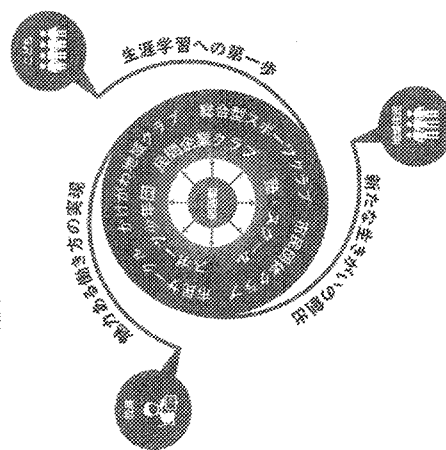
活動したい部活動の発展に貢献！
活動したい部活動の発展に貢献！

学校は部活動の発展を促す！
学校は部活動の発展を促す！

部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！

クラブの発展を促す「チャレンジ」！
クラブの発展を促す「チャレンジ」！

チャレンジの発展を促す「チャレンジ」！
チャレンジの発展を促す「チャレンジ」！



- ① 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ② 活動したい部活動の発展に貢献！
活動したい部活動の発展に貢献！
- ③ 学校は部活動の発展を促す！
学校は部活動の発展を促す！
- ④ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑤ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑥ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑦ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑧ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑨ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！
- ⑩ 部活動の発展を促す「チャレンジ」！
部活動の発展を促す「チャレンジ」！

磐田市地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」活動理念

磐田市地域クラブ活動は、子どもたちが自分
づくりや関係づくりを通して成長していく姿
を目標とします

- 1 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの居場所づくり
・子どもたちが、自主的・主体的に参加し、スポーツや文化的活動に親しむこ
とができる場を提供する。
・子どもたちが、安心・安全に活動できる環境を整える。
- 2 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの仲間づくり
・子どもたちが、集団の一員としてのよりよい資質を養うとともに、仲間との
絆を深め、豊かな人間性や社会性を育む。
・子どもたちが、学校や部活動、地域の人々との連絡と連携により、新たな
と出会い、つながりを深める。
- 3 「SPO☆CUL IWATA」は、子どもたちの志づくり
・未来に向け、志があり、思いやりと困難に負けない強い心をもつ「たくまし
い磐田人(いわたびと)」を育て、
・子どもたちの多様性を尊重し、好奇心や個性を育て、子どもたちの「夢」を
「夢」を「未来」につくる。
・子どもたちの生涯にわたって芸術や創作活動、スポーツに親しむための基礎
づくりを担う。
・子どもたちの学習意欲の向上や責任感、主体性、自己肯定感等の開発に資す
る。

磐田市地域クラブ活動が、健全で持続可能な有用な活動となるよう、関係す
るすべての人は、上記の理念の実現に努めていく。
～子どもたちを真ん中に据え、すべての中学生に充実した放課後活動の環境を～

参考事例：茨城県つくば市

健全なスポーツ・文化活動体制構築のポイント

- ◆ 心身の健康に配慮した活動であること
適切な活動時間、休息・オフ期間の設定、暴言・体罰の根絶 等
- ◆ スポーツ・文化活動に限らず、多様な経験の機会があること
マルチスポーツ、多様な文化芸術活動、地域ボランティア、家族や友人との時間 等
- ◆ 生涯にわたるスポーツ・文化活動への参加に繋がること
楽しい体験、多世代が参加できる環境の構築、地域コミュニティの再興 等

これらの活動を、特定の誰かに負担を負わせることなく
持続的に行える体制を構築していく

R7年度までのロードマップ

達成目標・・・R7年度末までに休日の部活動の地域移行実施率を100%にする

ロードマップ	R5	R6	R7
主体(休日)	クラブと学校のマッチング推進 クラブ立ち上げ支援体制構築 指導者の職・資格取得方法の確立	クラブと学校のマッチング推進 クラブ立ち上げ支援、指導者紹介	休日地域活動 50%
組織	部活時間との施設利用体制の検討 効果的な施設管理方法の検討 学校施設の施設利用方法の検討	部活時間との施設利用 教員が関わらないでの子どもの施設利用・管理 学校施設の施設利用の促進	休日地域活動 100%
財源	必要経費の算出、助成金・平償どり 多様な財源（協賛、寄附、学校施設の収益化）の獲得	助成金・平償からの支出	
社会連携	つくば市独自の文化スポーツフェスの開催（年3回?）		つくば市独自のリーグ戦の開催（月1回の試合?）

参考事例：沖縄県うるま市

(2) うるま市の目指す部活動の地域移行

本市では、中学校の運動部活動改革を通じて、子供たちが将来にわたって、スポーツを継続して親しむことができる機会の確保、持続可能な地域スポーツ環境を一体的に整備する。スポーツ団体等の組織化、指導者及び施設の確保、複数種目の活動の提供等をすることで子供たちの多様な体験機会を確保し、地域において中学生の運動・スポーツ活動を進めさせるとともに、活力ある社会と絆の強い社会創りを目指す。同時に、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質の向上につなげていくため、学校と地域が協力・連携し、段階的に部活動を学校から地域へ移行する。

中学生の地域スポーツ活動は、大会に参加することのみに重点を置く勝利至上主義ではなく、生徒の豊かなスポーツ活動を実現し、地域において生涯においてスポーツに親しむ環境づくりを目指す。

まず、令和5年度からうるま市立中学校の休日の運動部活動を地域へ移行し、休日は部活動ではなく地域スポーツの活動（地域クラブ活動）とする。令和7年度末までを改革推進期間とし、この3か年において、本市における地域クラブ活動の充実を図る。平日の運動部活動の地域移行に関しては、改革推進期間中において可能な種目から平日の

運動部活動も「地域クラブ活動」への移行を開始する。将来的には、中学生世代にとら
われない持続可能な地域のスポーツ活動が実施できる環境整備を目指し、部活動の意義
の継承・発展、新しい価値の創出を目指す。

[illegible]

(1) 地域ウラツ活動にかゝる経費

ア 地域クラブ活動の参加に係る費用は、参加者から会費を徴収する。

ウ 経済的困難家庭の生徒が会費負担を理由に地域クラブ活動に参加できないことがないよう、適切な措置を講ずる。

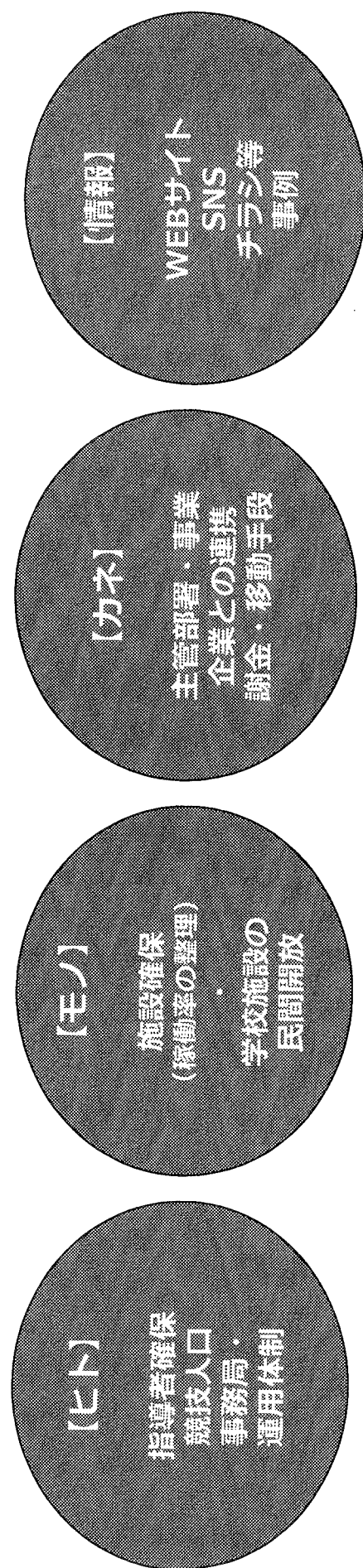
(2) 地域クワラ活動への支援

7 企業振興税と納税

教育委員会、学校、地域及び民間企業が連携し、充実した地域クラブ活動の持続可能な運営体制を構築するため、多様な財源を確保し、ふるさと納税、企業ふるさと納税、地域企業からの指定寄附（基金化）を取り入れる。さらに、PFS^{※1}により企業版ふるさと納税額を増額させ、サステナブルな地域クラブ活動を目指し、より多くの課題解決へのアプローチ及び支援を実施する。

福知山市における基本方針の進め方

「福知山モデル」を実現していく上で、
今回の部活動地域移行をきっかけとした街の生涯スポーツ・文化活動とセットで検討が必要



「子どもファースト」な環境をつくるために、
策定に関わる“大人”が変化に柔軟な考え方を基に方針策定を推進していくことが重要

舞鶴市部活動地域移行のための説明会・意見交換会

【日 時】令和6年8月21日(水)

18時30分～20時40分

【場 所】舞鶴市総合文化会館小ホール

1 開会挨拶

2 説明会

(1)舞鶴市のめざす部活動地域移行・連携について 舞鶴市長 鴨田 秋津

(2)中学校の部活動を始点に考える舞鶴市の文化・スポーツ活動の推進 体制と仕組みづくり
舞鶴市部活動地域移行あり方検討会 会長 長積 仁

(3)舞鶴市中学校部活動の地域移行・連携の現状と今後について
舞鶴市教育委員会学校教育課 指導主事 岡田 哲也

(4)質疑応答

3 意見交換会

参加者 各競技団体・クラブチーム関係者・地域の指導者・中学校顧問

参加種目 スポーツ 野球・剣道・柔道・卓球・バレー・バスケットボール・ソフトボール
陸上・サッカー・テニス・その他

文化 吹奏楽・その他文化

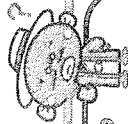
参加者数 100人前後

意見交換テーマ

- ①休日の学校部活動を地域移行した場合について
 - ・どのような形が望ましいか？
 - ・学校部活動にない競技や文化活動はどのように活動の場をひろげるか？
- ②6年度、7年度の実証事業について
 - ・本格実施に向けて、試しておきたいこと、段階的に進めたいことは？
 - 実証事業として参加するかどうか？

今後の確認事項

- ①6年度の実証事業の具体的計画(実証事業に取り組む競技のみ)
- ②継続的な意見交換について→競技ごとに日時・場所を設定



地域クラブ活動とは？

地域の人が中心となって行う新しい形のクラブ活動です。トップレベルを目指すクラブではなく、文化・スポーツ活動の「きつかけ」となるようなクラブを指します。地域クラブ活動の管理・運営を担う団体が学校等との調整役となります。

活動場所・時間・道具は？

中学校を基本とし、公共施設などを使用します。活動時間は学校の部活動と変わりません。これまでのガイドラインに則り、3時間の活動となります(大会除く)。道具については、地域クラブ活動の方針に則ってご家庭で準備していただきます。

指導者は？

地域の指導者が担います。地域の指導者は、文化・スポーツ団体に所属している方、競技経験がある方など様々です(教員の兼職業務も含む)。管理・運営団体は指導者に、安全面やハラスメント、救急方法等の研修を行う予定です。

平日の部活動は？

これまで通り、教員(顧問)による指導が基本となり、休日の地域クラブ活動指導者と連携を図りながら、部活動運営を行います。平日の部活動顧問と休日の地域クラブ活動指導者は、互いに連携して生徒(参加者)に対する適切な指導に努めます。

大会の参加は？

現在の部活動、地域移行後の地域クラブ活動どちらでも出場することができます(双方の登録で同時に出場することはできません)。学校と地域クラブ活動指導者が連携して調整することになります。

地域クラブ活動の参加費用は？

国の方針では、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定し、家庭に負担をしないでいただくこと(受益者負担)が示されています(近隣事例では月2千円～3千円程度)。部活動費との相違点は、地域クラブ活動に係る運営費や指導者報償費が含まれるか否かです。地域の文化・スポーツ環境を維持するために必要な経費であります。

令和6年度の新たな取り組みは？

白山中学校陸上競技部・卓球部で実証的に休日の地域移行を進めます。大会引率、休日の活動の連絡方法等を検証します。

ケガ等への対応は？

学校の活動ではなくなると、現在の部活動に適用している保険は利用できません。運営団体による保険加入が必要となり、「スポーツ安全保険」を想定しています。

ホームページ



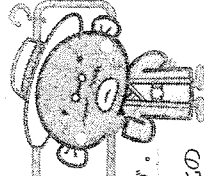
ご質問専用フォーム



休日の部活動が変わります！

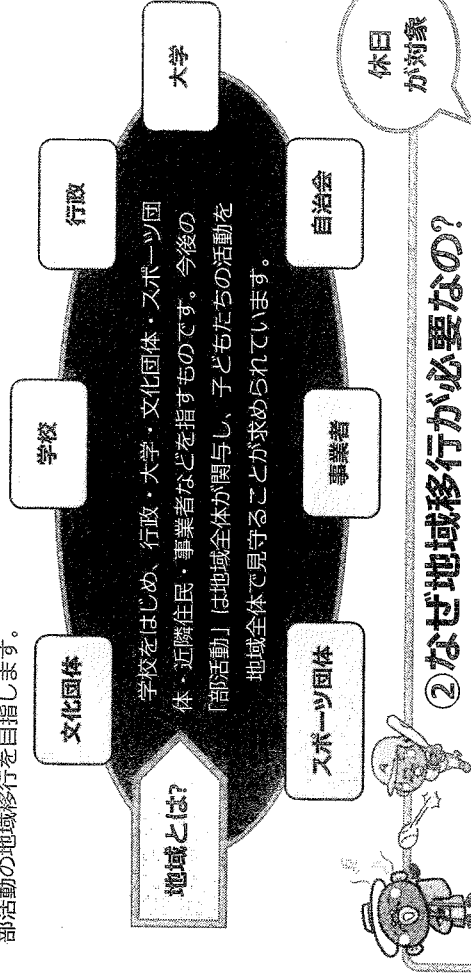
我孫子市

～中学校の休日部活動の地域移行について～



①部活動の“地域”移行とは？

中学校の教員が「顧問」として担ってきた部活動の指導を、地域の指導者やクラブ・団体などに移行することです。子どもたちが多様な活動を体験できる機会と、少子化の中でも将来にわたり活動を継続してできる環境を確保するため、国が令和5年度から令和7年度までの3年間で「改革推進期間」として進めるとしています。現在の予定では、令和8年度に全ての休日部活動の地域移行を目指します。



②なぜ地域移行が必要なの？

少子化によって部活動が成り立たない

- ・チーム練習ができない
- ・大会やコンクールに参加できない

生徒の多様なニーズ

- ・専門的な指導を受けたい
- ・学校にやりたい部活動がない

教員の負担

- ・未経験でも指導する負担
- ・平日・休日の部活動指導による長時間勤務

・部活動を学校だけで維持していくことが困難に...

・文化・スポーツ活動に継続的に親しめ、持続可能な活動環境の提供が必要

地域全体で関わりながら生徒を育てるため「部活動地域移行」を推進します

③部活動と地域クラブ活動の違い

	部活動(R5まで)	地域クラブ活動(R8から)
指導者	学校の教員(部活動指導員)	地域の指導者(教員の兼職兼業を含む)
活動場所	在籍する学校	市内の学校及び公共施設
運営主体	学校	文化クラブ、スポーツクラブ、NPO、民間企業、行政など
メリット	・生徒指導上の安心感 ・指導方針の一貫性	・やりたいクラブを選択できる ・専門性の高い指導を受けられる ・団体競技を維持することができる
デメリット	・やりたい部活動が無い場合がある ・専門性を有しない指導の場合がある ・少子化でチームを組めない ・教員の負担が大きい	・平日の顧問との指導体制の一貫性 ・保護者の経済的負担 ・活動場所がこれまでより遠くなる場合がある

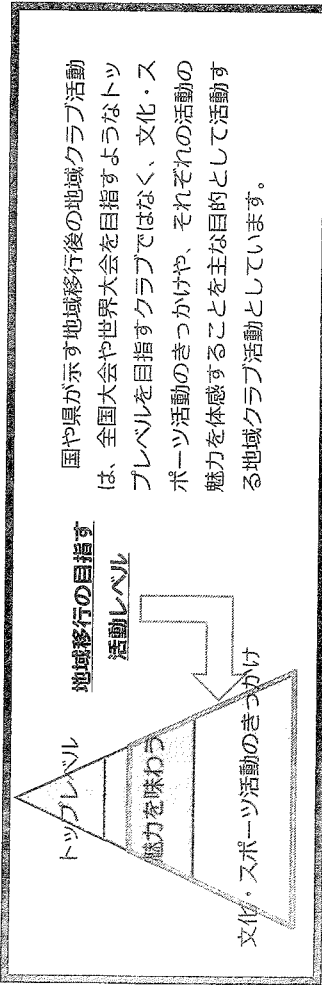
※部活動等を行い段階的に移行

これまで	R6			R7			R8(予定)		
平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	平日	休日	休日
部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	部活動	地域クラブ活動

④国や千葉県が示す地域移行

国では、令和5年度から令和7年度までの3年間を、部活動地域移行の改革推進期間とし、令和8年度より全学校全部活動の休日活動を地域に移行するとしています。

国の方針に基づき、千葉県でも令和7年度までを改革推進期間とし、各地区(我孫子市は東葛飾教育事務所)にコーディネーターを配置し、各市町村において、地域の状況に合わせた地域移行を進めるとしています。



⑤我孫子市の基本理念と基本方針

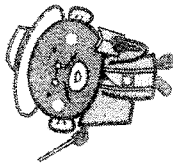
【基本理念】

「部活動の地域移行を通じ、子どもたちの文化・スポーツ活動を支援します」

【基本方針】

基本方針1

「文化・スポーツ活動に継続して親しむことができる環境と質の高い指導体制の構築」



基本方針2

「安全・安心な活動体制と活動施設の確保・維持」

⑥これまでの取り組みと今後の予定

我孫子市では、国や千葉県の方針に基づき、令和5年度より「我孫子市部活動地域移行検討委員会」を設置し、中学校の「休日」部活動地域移行に向けて検討を進めております。

令和6年度は、市内の複数部活動で休日の地域移行を進め、管理・運営方法等の検証を行い、令和8年度に全部活動の休日地域移行を目指します。

経過とスケジュール(予定)

令和5年度	我孫子市部活動地域移行検討委員会設置 ・基本理念・基本方針の決定 ・令和6年度実証事業の実施を決定 部活動指導員の配置	終了
令和6年度	休日部活動の地域移行「実証事業」を実施 ・市内中学校の複数部活動を地域移行(管理・運営方法、指導体制等を検証) 部活動指導員の配置(拡充)	
令和7年度	全中学校で各学校1部活動以上を地域移行(休日のみ) ・令和6年度の検証を踏まえ、全6中学校において各校1部活動以上を地域移行 部活動指導員の配置(拡充)	
令和8年度	全中学校の全部活動で地域移行(休日のみ)※現時点では4月からの開始を予定 ・諸事情により地域に移行することが難しい場合は部活動指導員が対応	

松本市
では

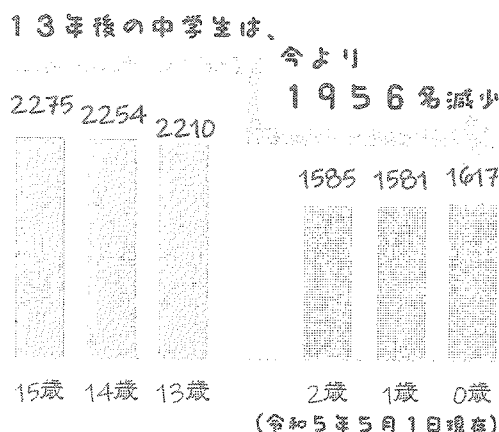
中学校の休日部活動は 地域クラブ活動へ移行^{*}します

^{*}一部の中学校では、既に休日の部活動を地域クラブへ移行しています。

- 松本市立中学校で行われている休日の部活動は令和7年度末までに廃止し、令和8年度からは平日の部活動も徐々に廃止していきます。
- 休日の活動を代替する手段は、地域クラブ等を選択し実施していくこととなります。
- このことは、中学生のスポーツや文化芸術活動を支えてきた部活動を地域で実施する大きな改革です。

✓ 部活動の改革はどうして行われるの？

少子化により、特に集団で行う部活動では、充実した活動ができず、存続すら難しい状態の学校もあります。その結果、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に取り組みなくなる心配が増えています。教員の配置人数も減っていきます。この改革により、部活動では経験できない様々なスポーツや文化芸術活動に触れる機会に繋がることも期待されています。



✓ 地域クラブはどう選べばいいの？

下記のURLでは、中学生が参加できる地域クラブを紹介しています。掲載の地域クラブ以外にも、松本市では様々な活動が行われていますので、活動方針に合う団体を選んでください。

✓ 松本市だけが行うの？

都道府県、市町村によって移行の進度は異なりますが、全国的に行われる改革になります。

✓ 部活動の改革で何が変わるの？

学校とは主体が異なる地域クラブでの活動になります。そのため、部活動で適用されてきた保険は、地域クラブには適用されません。地域クラブへの加入にあたっては、適切な保険に加入することが不可欠です。

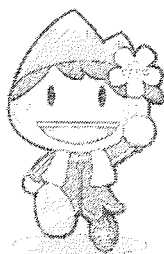
部活動では、各家庭から担当顧問への指導料は支払われませんでしたが、地域クラブとなると月謝が発生する可能性があります。松本市では、低廉な月謝で参加できるよう引き続き依頼していきます。

✓ いつまでに移行するの？

令和6・7年度の2年間で、移行可能な学校の部活動から、地域クラブに移行するよう具体的な対応を行います。令和6・7年度に部活動に所属している中学生へは、学校を通じて連絡があります。

✓ 平日はどうなるの？

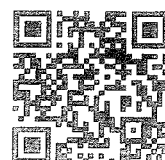
休日部活動が廃止されても、平日部活動は残ります。体制が整えば令和8年度以降、平日部活動も徐々に地域クラブ活動へ移行していく予定です。



松本市の部活動に関する情報サイト

URL: <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/chiikiikou>

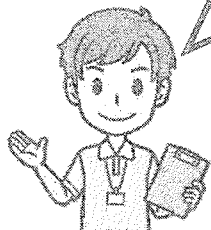
中学生が参加できる地域クラブ、移行に係る調査結果、移行検討協議会等の情報を発信しています。



小学校5年生・6年生
中学校の皆さんへ

ぶかつどう ちいきいこう 部活動の地域移行って何だろう？

先生、部活動の地域移行ってどういうことですか？



先生

地域移行とは、これまで中学校で学校の先生が、その学校の生徒を対象にして行ってきた部活動を大きく変えるものなんだ。地区の施設も含めて様々な場所で、学校の先生だけでなく、スポーツ団体の選手や地域の指導者など、いろんな人が関わることになるんだよ。学校単位でなく、いろんな学校の生徒と合同で行う地域クラブも考えられるね。



まなぶさん
(小5)

今まで部活動はひとつしか選べなかったと思うけど、平日や休日で活動種目を変えてもいいし、もちろんクラブ活動をやらなくても大丈夫！要はいろんな地域クラブを作って選択肢を広げようとしているんだよ。



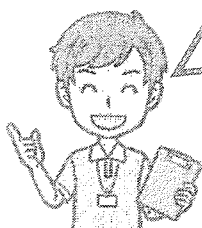
先生

「部活動」ではなく「地域クラブ」に参加するということ？



まなぶさん

でも、なぜ、そんなふうに変えなくてはならないの？



先生

大きく2つの理由があるんだよ。1つめは生徒の数が減っていることなんだ。少子化って聞いたことがあるかな？最近では子どもの数が減ってきて、野球やサッカーなどのチームを作るのが難しい学校も出てきているんだ。これからもっと生徒が減っていくと予想されていて、これまでのように部活動を続けるのが難しいかもしれないんだよ。そこで、学校の部活動ではなく地元のスポーツクラブなどに参加して、学校という枠を超えて、一緒に頑張ろうっていう試みが各地で進んでいるんだ。



先生

2つめは、先生の働き方改革。最近では、先生方がとても忙しくなって、それが大きな社会の問題になっているんだよ。これまで中学校の部活動は、学校の授業とは別に、先生方ががんばってくれていたんだ。本来は休みのはずの土日にも部活動をしているから、働く時間が長くなってしまっているんだ。そして、学校の部活動を担当している先生の6割は、その種目をやったことがないんだ。それって大変なことだよ。



地域移行って大変そうだけど大丈夫？

いつから、そうなるの？

松本市では、バドミントンや野球など、いくつかのクラブを作って、もう実際に始まっているものもあるし、君たちも参加できるよ。まずは令和7年度末までに土日などの休日は地域クラブに参加していくことを目指している。そして、平日の部活動については、様子を見ながら、令和8年度を目標に移行を進めていく予定なんだ。



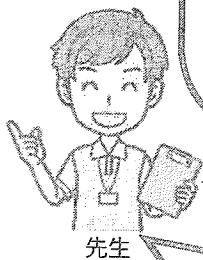
先生



まなぶさん

でも、いろんなことを変えていくのは難しそうだよ。

もちろん、地域移行にはいろいろ課題もあるんだ。たとえば、指導者の問題。地域クラブといっても、みんなを教える指導者や監督を見つけるのが、実は大変になる。地域によっては、学校の先生よりも、そのスポーツに詳しい人がいるかもしれないけど、そうした人を見つけるのが難しいことが予想されるんだ。また、場所を確保するのも難しいことがあるかもしれないね。なるべく中学生が自分で通いやすい場所に、地域クラブを作っていきたいと思っているんだ。これは運動部だけでなく、文化部でも同じようなことが起こる可能性がある。その辺は、これから市役所の担当者や学校、スポーツ団体や地域の皆さんで知恵を出し合いながら、子どもたちのために最善の方法を考えていく予定だよ。



先生



まなぶさん

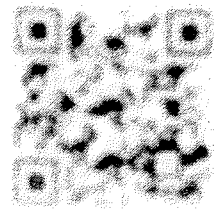
なるほど！これからどんな地域クラブが各地域に誕生するのが楽しみになってきたよ。

少し関心が高まってきたところで、みんなで「地域クラブ」の名称を考えてみない？松本市では、現在、地域クラブに代わる新たな名称を検討しているんだ。これまでに議論を重ねて、7つの候補が挙がっているんだけど、名称を変えることで、地域移行への期待感をさらに高め、今までの部活動から新たな仕組みになるという意識の変化を目指すよ。

※右のQRコードから投票しよう！一番多く投票を得た名前が、松本市の地域クラブの新しい名前になるんだって。



まなぶさん



↑応募用の入力フォーム
はこちら (R6.5.20 まで)

松本市教育委員会

<7つのネーミング候補>

- ①まつもと子ども未来クラブ ②まつもと子ども・若者未来クラブ ③まつもと子どもコミュニティクラブ ④まつもと子どもスクールプラス ⑤松本子どもチャレンジクラブ ⑥子どもサポートクラブ ⑦まつもと子どもチャレンジクラブ